



# ひろば



令和5年1月31日 発行

子どもたちが育てた「サルビア」

## 感動する心は人生の道しるべ

校長 山 美奈子

私の父は、出張に行くたびにお土産に本を買ってきてくれた。幼い私はそれが楽しみで仕方がなかった。『十五少年漂流記』に心躍らせ、『若草物語』の世界に自分自身を重ねた。ゲームなどなかった時代に、一冊の本は私の宝物であった。この時の感覚は今も忘れることはない。

先日、椋鳩十先生のお孫さんにあたる久保田里花氏の講演会に参加し、椋鳩十先生の幼い頃の話や作品に込めた思いなどを拝聴した。椋鳩十先生といえば、5年生の教科書に掲載されている『大造じいさんとがん』の作者である。『大造じいさんとがん』は鹿児島島の栗野岳が舞台となった作品で、70年以上国語の教科書に掲載されている。椋鳩十先生が作家になるきっかけは、学校の先生が貸してくれた一冊の本『ハイジ』との出会いであった。アルム爺さんとハイジがアルプスの山の岩に並んで腰かけて山の夕焼けの美しさについて話をする場面を読み、自分が毎日見る目の前の夕焼けの美しさに気付き、この世の美しさと生きることのすばらしさに純粋に感動したからだという。のちに「あの日の感激が、私の運命を開く鍵であったと思う」と語っている。感動は人間を変える。人間は何に会い、何に感動するかが大事である。特に本の感動というやつは大きいとも語っている。

また、椋鳩十先生は昭和32年「母と子の20分間読書」を提唱された。教科書以外の本を子どもが音読するのを、母親が傍らで耳を傾けるというものだ。子どもが微笑みながら読む本に母親も微笑み、子どもが涙しながら読む本に母親も涙する。それは「親子読書」と言われるようになり現在も続いている。

先週、本校で行われたサーカスも、まさに子どもたちに夢と感動を与えるものであった。きらきらと目を輝かせ、わあっと歓声をあげる子どもたち。子どもたちが心を動かされ、感動を覚えるものはまわりにたくさんあると思う。それは一冊の本かもしれないし、毎日目にする自然の風景かもしれない。子どもたちの純粋に感動する心を大事にしたい。



【サーカスを見て歓声をあげる子供】

世の中にたえて桜のなかりせば  
春の心はのどけからまし

在原 業平

昨日、崎原の桜並木を見に行った。まだまだ満開ではなかったが、ピンク色に染まり始めた木々が青空に映えて並ぶ様子は美しく、花を眺めながらしばらくの間散策した。本土でポピュラーなソメイヨシノとは違い、奄美のヒカンザクラ（緋寒桜。寒緋桜ともいう）は緋色の花をうつむき加減に咲かせる。雨上がりの水滴をまとったしっとりとしたその姿は艶があり、寒い時期に花を咲かせる芯の強ささえ感じさせる。まさに妖艶な美しさ。ああ、今年も美しい景色をありがとう。

文頭の和歌は、伊勢物語と古今和歌集におさめられている。この世の中に、全く桜というものがなかったなら、春を過ごす人の心はどんなにのどかであることでしょうかと訊かれる。人は桜の花がいつ咲くのかと気にかけて、咲いたと思えば、今度はいつ花が散るのか気がなり落ち着かない。桜の存在に人々の心が穏やかでないことを述べて桜の素晴らしさを伝えている。日本人は、いにしえの時代から変わることなく桜を愛し、め度ながら文化を紡いできた。現代でも多くの歌に、様々な感情で桜の咲く姿や散る姿が描かれている。

住用にも学校の周辺にも、見渡せば桜の木を見ることが出来る。中学校の校門の桜にはメジロが楽しそうに飛び回っていた。何かと物騒な事件や、収まらないコロナなど、減入ってしまいそうなニュースも多いが、美しい花を眺めて心を躍らせた癒されたりする時間や経験を大切に、豊かな心を育みたいものである。

## 世界からやってきた 夢のプレゼント

10年に一度の大寒波が襲ってきた1月25日。本校体育館で「一輪車サーカスのコミュニケーションワークショップ(文化庁主催)」が開催されました。来てくださったのは海外でも活躍している「Witty Look」のお二人です。信じられないようなアクロバティックな一輪車の演技に子供たちはもちろん、地域や保護者の方からも歓声があがりました。演技を見た後は、ワークショップで「言葉を使わずに相手を理解し、つながり合う活動」を行いました。二人組で相手の気持ちや動きを感じながら相手を待ったり、自分が動いたりしてお互いに心と体を合わせる楽しさを味わうことができました。

「Witty Look」のお二人からは子供たちに「海外に行き、戦火の中で演技を披露する等、様々な所に行きサーカスを通して人と人とのつながりを感じ、平和へのメッセージを伝えている。皆さんも自分のしたいことや思い付いたことをとりあえずやってみて、うまくいかなくては考えて工夫して豊かな人生を歩んでください。」と話をしてくれました。

世界で活躍する方の演技とお話に、子供たちはもちろん大人もどんどん引き込まれていきました。未知の文化とふれあい、新たな自分の夢について考えるきっかけとなる一日になってくれればと思うことでした。

お礼のことは 新納莉穂さん



### ★住用の子に光を!★



#### 地域とつながる子供

12月に地域の方を招いて島唄・島口の学習をしました。三味線に合わせて「ワイド節」を唄い、六調を踊りました。年末を迎える時期に地域の方とよい思い出をつくることができました。

#### <2月の行事予定>

- 4日(土) 持久走大会
- 7日(火) 中学校入学説明会
- 8日(水) 新1年生入学説明会
- 22日(水) 椎茸の駒打ち体験

#### <3月の行事予定>

- 2日(木) 授業参観・学級PTA  
家庭教育学級閉級式
- 23日(木) 卒業式
- 24日(金) 修了式、辞任式

#### ○ お知らせ

アルミ缶の回収に伴い、PTA会費の収入が **5296円** ありました。

